

クリスマスの夜に読みたい1冊

日本のクリスマスはけっこうにぎやか。でも外国ではキリストの誕生を祝い、静に祈りをささげる行事です。そんなクリスマスの夜に開いてみる本を選んで、オススメの場面を紹介してもらいました。

星の王子さま、
サン＝テグジュペリ/作



「見上げている星の中の
ど木かばく星だと思
えば、すぐての星が君の友
達になる。」

星の王子さまが夜空を見
上げていている場面。

その他に「ムニン谷の仲間たち」
「赤毛のアン」 「飛ぶ教室」があります。



参考にした講談社青い鳥文庫のWebサイトには次の作品も紹介されています

『青い鳥』『クリスマス キャロル』『若草物語』『フランダースの犬』『あしながおじさん』

『賢者の贈り物』『ピーター・パンとウェンディ』『聖書物語<新約編>』

図書室としては「フランダース」と「賢者の」がイチオシですが…本がみつかりません！（ごめんなさい）

サンタはどこにいる？

サンタなんておらんやん！って言うてしまうと身もフタもありません。

現に「サンタクロース協会」があるので、調べてみました。

サンタクロースはどこに住んでいるか知っていますか？

永遠の命を持っている長老のサンタクロースは、
グリーンランドという、雪と氷に覆われた島に住んでいるだよ。
そねにクリスマスプレゼントはなぜ靴下の中に入るか知ってますか？

昔の事、心優しいニコラスという男の人が居ました。
ニコラスはキリスト教を信じていて人々にその教えを広めていました。
ニコラスは貧しい人の家に窓から金貨を投げ入れました。

それが偶然靴下に入ったのです。

それが始まりでした。それからニコラスは「セント(聖)ニコラス」と呼ばれました。
それがなまって「サンタクロース」になったのです。



参考資料

グリーンランド国際サンタクロース協会公認サンタクロース日本代表 パラダイス山元 サンタクロースサイト